

鉄道施設で日本初、スマートエアフローシステムを 活用した駅空間快適性向上の実証実験について

1 はじめに

大阪市高速電気軌道株式会社（以下、Osaka Metro）、関西電力株式会社、東芝キャリア株式会社は、この8月1日から同月31日までOsaka Metro 千日前線日本橋駅ホーム階で、スマートエアフローシステムを活用した駅空間の快適性向上の実証実験を行いました。スマートエアフローシステムを鉄道施設で活用した実証実験は日本初となります。

Osaka Metro では既に全 133 駅に冷房設備を整備しておりますが、お客さまへさらなる快適な駅空間を提供するため、空調環境の改善に継続して取り組むとしており、この度3社が協力し本実証実験を行ったものです。

2 内容

スマートエアフローシステムは大風量の冷気と長い気流が特長で、吹出口のルーバーが左右に自動スイングすることにより、エアコンから離れた場所に必要な冷房を効率的に届けることが可能なスポット空調システムです。

駅ホームに設置することにより、お客さまが冷気の気流感を得ることで涼しさを感じていただけます。本実証実験では、スマートエアフローシステムをホーム階に設置し、お客さまが冷たい気流感を得ることで涼しさを感じていただけるよう試験的に導入したものです。

本実証実験では、既存エアコンの運転をスマートエアフローシステムの運転に切り替えて行い、ホーム階の気温・湿度・気流等を計測するとともに、お客さまアンケートを実施しました。

3 今後の取組み

今後、駅ホーム階におけるスマートエアフローシステムの実用化に向けた課題を抽出し、その解決を図るとともに、

収集したデータを解析し設計基礎データに活かすことで、お客さまの満足度向上および効率的な空調システム構築による省エネ・省CO2 社会の実現を目指して参ります。



既存のエアコンの上に設置したスマートエアフローシステム（丸い形をしたものが吹き出し口であり、そこに、大風量の冷気と長い気流を生み出すルーバーがあります。）

（問い合わせ）Osaka Metro 広報課

電話：06-6585-6132